

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係

沖縄復帰記念式典(3) (アグニュー副大統領関係)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43581

アグニユー
の訪日に関する官房長官談話

批 読表 まで

アメリカ局長
参事官
北米第一課長

情報文化局長
報道課長

大臣
事務次官
官房長

米側における参事官の参事官発表よりなること。
昨(20日)午(11時)アグニール副大統領が19日夕刻

(米側)

アグニール副大統領の訪日に関する
官房長官談話 (案)

今般アグニール副大統領がわが国の招待をうけて
ニクソン大統領の名代として、5月15日の沖縄復帰
記念式典に参列するため訪日することとなった。
わが国にとつて、また日米両国関係におしても、この記念式典を機会に
同副大統領の訪日は、日米友好関係を一層促進
する上で誠に有意義かつ時宜にかなつたもので

外務省

女

これ

あり、政府としては南副大統領一行の来日
心より歓迎する次第であり、所要の接遇
準備をすすめてまいりたい。
なお、滞日期間は5月12日から16日までの5
日間であるが、5月15日の式典参列以外の詳細日
程は未定である。

外務省

秘
表
まで

アグニュー米副大統領の訪日に関する
官房長官談話 (案)
昭和四七、四、一八
アメリカ局北米第一課

今般、アグニュー米副大統領がわが国の招待をうけて、ニクソン大統領の名代として、五月十五日の沖縄復帰記念式典に参列するため訪日することとなった。わが国にとつて、また日米两国関係においても、この記念すべき機会に同副大統領を迎えることは、日米友好関係を一層促進する上でまことに有意義、かつ、時宜にかなつたものであり、これを心より歓迎する次第であり、所要の接遇準備を進めてまいりたい。

なお、滞日期間は五月十二日から十六日までの五日間であるが、五月十五日の式典参列以外の詳細日程は未定である。

9/19 まで 官房長官談話 に関する

秘
表
まで

アグニュー米副大統領の訪日に関する
官房長官談話 (案)
昭和四七、四、一八
アメリカ局北米第一課

今般、アグニュー米副大統領がわが国の招待をうけて、ニクソン大統領の名代として、五月十五日の沖縄復帰記念式典に参列するため訪日することとなった。わが国にとつて、また日米两国関係においても、この記念すべき機会に同副大統領を迎えることは、日米友好関係を一層促進する上でまことに有意義、かつ、時宜にかなつたものであり、これを心より歓迎する次第であり、所要の接遇準備を進めてまいりたい。

なお、滞日期間は五月十二日から十六日までの五日間であるが、五月十五日の式典参列以外の詳細日程は未定である。

20日午後1時までに公表禁止のインボウ
つきで、19日夕刻官邸において
総理

In light of the great importance which the United States places on this significant event in our relationship with Japan, the President has asked Vice President Spiro Agnew to attend the Reversion Day Ceremonies in Tokyo on May 15 as his personal representative. Other members of the delegation are: Robert S. Ingersoll, U.S. Ambassador to Japan; Lt.Gen. James B. Lampert, High Commissioner of the Ryukyu Islands. Decisions concerning the details of the Vice President's schedule while in Japan have not yet been made. It is anticipated that the Vice President's trip will be of fairly brief duration, however, in view of the fact that Mr. Agnew must return to Washington in sufficient time for consultations with the President before the latter's scheduled departure for the Soviet Union.

抄
合

In light of the great importance which the United States places on this significant event in our relationship with Japan, the President has asked Vice President Spiro Agnew to attend the Reversion Day Ceremonies in Tokyo on May 15 as his personal representative. Other members of the delegation are: Robert S. Ingersoll, U.S. Ambassador to Japan; Lt.Gen. James B. Lampert, High Commissioner of the Ryukyu Islands. Decisions concerning the details of the Vice President's schedule while in Japan have not yet been made. It is anticipated that the Vice President's trip will be of fairly brief duration, however, in view of the fact that Mr. Agnew must return to Washington in sufficient time for consultations with the President before the latter's scheduled departure for the Soviet Union.

アグニュー米副大統領の訪日に関する
官房長官談話

昭、四七、四二〇

20日午前7時
まで公表禁止

注意

今般、アグニュー米副大統領がわが国の招待をうけて、ニクソン大統領の名代として、五月十五日の沖縄復帰記念式典に参列するため訪日することとなった。わが国にとつて、また日米両国関係においても、この記念すべき機会に同副大統領を迎えることは、日米友好関係を一層促進する上でまことに有意義、かつ、時宜にかなつたものである。政府としてはこれを心より歓迎する次第であり、所要の接遇準備を進めてまいりたい。

なお、滞日期間は五月十二日から十六日までの五日間であるが、五月十五日の式典参列以外の詳細日程は未定である。